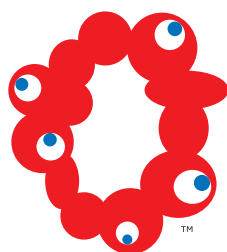


JAL EXPO 2025 VISION BOOK



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025



SILVER PARTNER

*本資料のお問い合わせ先は、裏表紙に記載しております。

つながりは、 未来への翼だ。

空を飛ぶという人類の夢を実現した飛行機。
地球上あらゆる場所への
安全・安心な移動に貢献してきた私たちJALは、
その先にある新しい生き方や暮らしまでを創造していきます。

それはたとえば、
人々が愛着のある場所をいくつも持ち、
季節ごとに地域を移り住む未来。
多様な価値観を持つ人たちが集まって
まちに新たなにぎわいを生みだす未来。
地元の人と共に土地の歴史的な魅力を学び、
継承していく未来。

つながりを感じるお気に入りの地域が、
人生にいくつもある生き方は、社会も経済も環境も
ウェルビーイングにしてくれるはずです。

あらゆる地域で関係・つながりを増やし、
多くの人々やさまざまな物が自由に行き交う、
心はずむ社会・未来を実現するために。
JALはその翼をさらに大きく広げていきます。



空の駅&離島空飛ぶクルマ



聖地巡礼型アニメ開発



JALローカルメディア編集部



郷土料理継承ラボ



再び、未来の空を描くとき。 55年の時を超えて、

JALグループは1951年の創業以来、空の移動を通じて人や地域、世界をつなぎ、心はずむ社会の実現を目指してきました。遡ること55年、1970年の日本万博ではジャンボジェット機が空の未来を象徴する存在として登場しました。世界中の人々が、新たな移動に胸をときめかせた瞬間です。ついに開幕を迎える大阪・関西万博。JALは、この場を新たな希望を体現する契機と捉えています。「JAL FUTURE MAP」に描いた未来は、決して絵空事ではありません。次世代エアモビリティ「空飛ぶクルマ」への挑戦をはじめ、すべて必ずたどり着ける未来だと信じています。大阪・関西万博では、その可能性を世界中の皆さまに体感いただけるイマーシブな展示を通じ、未来の空を訪れる方々にお届けします。JALはこれからも、夢と出会いを運び、未来社会の創造に貢献してまいります。



日本航空
代表取締役社長 / グループCEO

鳥取 三津子

VISION BOOK index

- P3 ————— なぜJALは、万博に参画するのか？
- P4 ————— JALが掲げる3つの目標
- P5-6 ————— “空飛ぶクルマ”への挑戦
- P7 ————— JAL×GUNDAM FLY TO THE FUTURE PROJECT始動
- P8 ————— 訪日外国人の地方周遊促進プロジェクトを開始
- P9 ————— JAL大阪・サンセバスチャンプロジェクト
- P10 ————— 巻末コラム 大阪・関西万博によせて

Q.

なぜJALは、
万博に参画するのか？

A.

見据える未来が、
一致するから。

もちろん、世界中から人が集まる大きなイベントであるということも理由のひとつです。しかし参画を決定するうえで、それよりも重きを置いたのは「ビジョンの一致」です。万博が目指す未来と、JALのFUTURE MAP。その2つが重なっているからこそ、私たちは万博に参画するべきだと決断をくだしました。

大阪・関西万博が
めざすもの

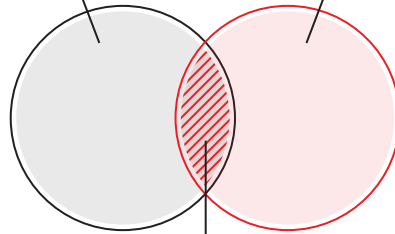
いのち輝く
未来社会のデザイン

世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」する場。人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信することをめざしています。

JALが
描く未来

移動を通じた関係・
つながりを創造する未来

安心・安全な空の移動の、さらに先。あらゆる地域で関係・つながりを増やし多くの人々やさまざまな物が自由に行き交う、心はずむ社会・未来の実現をめざしています。



安全・安心な社会、
豊かさと希望を感じる未来

大阪・関西万博とJALがめざすのは、安全・安心の基盤の上に、人々が豊かさや希望を実感できる未来社会の創造です。JALは空の移動を通じて、その実現に挑みます。

Q.

JALは万博で
何をを目指すのか？

A.

移動を通じた「つながり」の
創出を体現。

万博は、JAL FUTURE MAPの体現の場。だからこそJALは、さまざまな取り組みを通して関西圏、そして日本全体の経済・文化の発展に貢献するとともに、新たな移動の可能性と、あらゆる地域がつながる未来を、目に見える形で世界中に示すことをめざします。

未来社会の実現と
空飛ぶクルマの理解促進



ジャンボジェット機がJALで初就航したのは1970年、大阪万博の年。空の旅の可能性が、一気に開けた当時のように、今度は小さく機敏な“空飛ぶクルマ”が、未来社会の可能性を開いていきます。

国内外を問わない
新しい人流の創出



国内外を問わず、あらゆる人々が“移動”する万博。国や自治体との深い連携で、まだ知られていない観光資源に光を当て、日本中を人々が行き交う機運を醸成します。

JALが掲げる3つの目標

万博がめざす持続可能な社会と、JALのビジョンを実現するためのステップとして。私たちがこの万博で果たすべき3つの目標と、それに紐づく各種取り組みを紹介します。

未来社会の実現と空飛ぶクルマの理解促進

1 空の移動をもっと身近にする。

都市と地域の境目を、誰もが、より簡単に飛び越えられるような未来を実現する、新たなモビリティ「空飛ぶクルマ」の世界観を提供。来場者の皆さまへ、胸が弾むような未来社会の移動を体感してもらいます。



国内外を問わない新しい人流の創出

2 日本各地への人流を生み出す。

地域の観光資源に注目が集まるきっかけを生み出すために、クールジャパンや推し活のコンテキストを取り入れた、新たなコラボレーション施策を推進します。



3 地域の魅力を発信し、新たな人流を創出する。

食文化をはじめ、地域の魅力を若い感性も巻き込んで国内外に発信。オーバーツーリズムを解消しながら、国内でもっと盛んに人が行き交う社会を構築していきます。



※画像はイメージです。

安全・安心な社会、
豊かさと希望を感じる未来をめざして。

空の移動をもっと身近にするために

“空飛ぶクルマ”への挑戦



未来を示す万博を舞台に、 100年に1度の移動革命へ。

100年に1度の移動革命と呼ばれる、新たなモビリティ“空飛ぶクルマ”。地球に優しく、より身近な新しい空の移動価値の創造を実現するために、空飛ぶクルマの社会実装を進めます。1970年の大阪万博で登場した“未来の

乗り物”、リニアモーターカーや電気自動車は、今となっては「当たり前」の技術。誰より空を愛するJALが、55年後の当たり前を目指して“空飛ぶクルマ”にチャレンジします。

JALが構想する“空飛ぶクルマ”



飛行機に乗るために、空港に行く。そんな常識を超えようと、「空の方からお客様の身近な場所にやってくる」というコンセプトを提案するのが、“空飛ぶクルマ”の描く未来です。2024年6月、JALと住友商事は、eVTOL運航会社Soracleを共同で設立し、「空飛ぶクルマ」社会実装にむけた取り組みを加速。これまでJALが航空事業にて培った技術・知見、ノウハウを活かして、いつでも、どこからでも空を駆けることができる、移動が自由になる未来を、実現していきます。

空の移動をもっと身近にするために

空飛ぶクルマの世界観を

イマーシブシアター “そらクルーズ”を体感



まるで空飛ぶクルマに乗っているかのように、大阪上空をはじめ、さまざまな場所を巡る“そらクルーズ”（飛行体験）を楽しめるイマーシブシアターを展示。このシアターでは、リアルな映像や立体音響、振動によって没入感を高める「イマーシブソリューション」を導入し、まるで空飛ぶクルマに搭乗しているかのような臨場感を提供し、JALの次世代モビリティが創る未来の空を体験いただけます。シアター本編以外にも、空飛ぶクルマのデジタルお絵描き体験もご用意。子どもから大人までお楽しみいただけます。

EXPO Vertiportで 実機サイズのモデル機を展示



©オリックス株式会社



©Archer Aviation Inc.

万博会場内北西部に位置する「モビリティエクスペリエンス」には、空飛ぶクルマの発着場であるEXPO Vertiportが設置されており、ポートに実物大の機材展示を行います。間もなく実用化される機体を間近に体感いただき、新しい空の旅に思いを巡らせてみてください。

Archer社
eVTOL “Midnight”

【定員】5名【運航性能】最高速度 240km/h・航続距離 160km・最大積載量 454kg
【機体サイズ】全長 約10m・全幅(翼長) 約15m・全高 約4m

日本各地への人流を生み出すために

JAL×GUNDAM FLY TO THE FUTURE PROJECT始動



高さ17mの実物大ガンダムを擁する

**「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」とタイアップし、
地域活性化を促進して、旅行需要を創出。**

日本には、いまだ注目を受けていない観光資源がたくさん眠っています。そこにスポットを当てるために、私たちはより快適な移動を追求すると同時に、人を突き動かす“きっかけづくり”に取り組んでいます。その象徴的な取り

組みとして、この万博では、GUNDAM NEXT FUTURE PAVILIONを出展するバンダイナムコ社とタッグを組み、コラボデカール機の運航を始め、数多の取り組みを推進してまいります。

地域誘客のための取り組み



JALガンダムJETの就航

本プロジェクトを象徴する大阪・関西万博仕様「JALガンダムJET」を運航。ガンダムを通して世界中がつながり、ともに「未来」を考えるきっかけの場を築きます。



万博×JAL 限定ガンプラ販売

「おうちで機内販売*1」で大阪・関西万博開催を記念したJAL仕様のガンプラ*2を数量限定で販売。国内旅行の活性化に貢献します。

©創通・サンライズ



限定プラモデル付き ダイナミックパッケージ

大阪・関西万博開催を記念したJAL仕様の限定ガンプラを特典とした特別ツアーを実施。大阪・関西万博への誘客を図ります。

※1 JAL国内線にご搭乗の際に、機内Wi-Fiを利用して事前登録いただくと、ご登録後3日間機内販売品をご購入いただけるサービスです。
※2 ダイナミックパッケージ特典のガンプラとはデザインが異なります。

日本各地への人流を生み出すために

訪日外国人の地方周遊 促進プロジェクトを開始



日本の「まだ見ぬ観光地」へのルートを 世界中に広げるために。

特にインバウンド向けという意味では、日本の観光情報はまだ限られています。都市部や有名観光地以外への路線は、アクセス案内も広く伝わっておらず、海外からの渡航客が利用することが難しい状況にあります。だからこそ、この万博という契機に、JALは利用率の

高くない路線にスポットを当てた伊丹空港発着のツアーをJTBとの共創プロジェクトとして企画。万博公式観光ポータルサイトと連携して告知を図ることで、まだ知られていない秘境・名所へ彼らを導いて、日本全国の魅力を全世界に発信します。

伊丹空港発ツアーの詳細(一例)



世界自然遺産「奄美大島」と
鹿児島3日間

東洋のガラパゴス、世界自然遺産「奄美大島」、雄大な活火山桜島を望む東洋のナポリ「鹿児島」を訪ねる。



山陰から山陽・瀬戸内海を
めぐる3日間

神話のふるさと出雲、古い街並みの倉敷、世界遺産宮島、景観美のしまなみ海道などを巡る。



東北 古き良き日本の
風情を感じる旅3日間

ノスタルジックな银山温泉と古刹立石寺、日本三景松島、世界文化遺産中尊寺を訪ねる。

インバウンド向けのLPサイト 「GUIDE TO JAPAN」に特設ページ設置。



ツアーのみならず、インバウンド専用のLPサイト「GUIDE TO JAPAN」内に万博特設ページを設置。万博を契機に大阪のみならず日本各地の魅力をインバウンド向けに訴求することで、気楽に様々な日本の地域を楽しめる仕掛けを構築しています。

地域の魅力を発信し、新たな人流を創出するために

JAL大阪・サンセバスチャンプロジェクト



©京阪神エルマガジン社 写真/米田真也

大阪中のグルメの魅力を発信して、オーバーツーリズムを解消。

世界屈指の美食の街、スペインのサン・セバスチャンのように、大阪の多彩なグルメと、ナイトコンテンツをはじめ様々なエリアの魅力を伝えるプロジェクト。梅田やなんばといった中心エリア以外にも周遊を促し、多様な食文化を発信します。また、スロットとQRttoと連携した「JAL MaaS大阪周遊バス」により多くのエリアへの訪問を促進することで、中心エリアへ極集中のオーバーツーリズム解消を図ります。

JALレストランバス 運行



提供:WILLER

※画像はイメージです。

ガストロノミーに“観光”を加えた
これまでにない旅の楽しみ方を提案。

誰もが惹かれる観光資源といえば、食。この万博で日本を訪れた方々に、地域の食材とご当地の味を知ってもらいたい。そんな思いから、万博開催期間中、国内唯一のキッチン付き二階建てバス車両を運行します。食や景色、文化など、その土地ならではの魅力を楽しむコースを提供するとともに、地域に点在する魅力をレストランバスが繋げていく。観光と食を融合した特別な体験で、地域の新たな魅力を創出します。

高校生動画万博



受賞作品はこちらから
ご覧いただけます。



高校生の感性で、
地域の魅力を再発掘。

高校生たちが、地元の魅力を見つめ直し、英語で制作する動画を通じてグローバルな視野と地域への誇りを育む。同時に、その感性で地域の魅力を掘り起こす。JALは「地域の魅力再発掘」を目的とした、高校生動画万博を開催。応募総数は、約330作品。数々の傑作が集まり、想像以上の盛り上がりを見せたコンテストとなりました。

移動がつなぐ、Well-beingな未来へ

コロナ禍で移動が制限されたことで、人につながることの価値を改めて実感しました。JALグループは、移動を通じて生まれる「関係・つながり」によって、人々のWell-beingに貢献することを目指しています。心身の健康、社会との関係性、環境との調和など、多面的な視点でのWell-beingの実現を推進しており、その未来像を描いたのが「JAL FUTURE MAP」です。大阪・関西万博では、その一端を体験いただける場として、次世代エアモビリティ「空飛ぶクルマ」の没入型展示をご用意しました。JALが目指すのは、安心して移動できる社会、行きたい場所へ自由に行ける社会、そしてその先にある出会いや人と人のつながりを増やし、Well-beingな社会を実現していくこと。未来社会の創造に向けて、JALはこれからも挑戦を続けてまいります。



日本航空
代表取締役副社長執行役員 グループCFO
齋藤 祐二

「移動」と「つながり」のチカラで、 大阪・関西から日本各地への人流を創る

JALグループは、「移動」を通じて多くの人々の「つながり」を創出することで、地域活性化をはじめとした社会的価値を創出することを目指しています。大阪・関西万博開催期間中は、世界中からお越しになる多くのお客さまに安全・安心な「移動」を体験いただくとともに、みなさまに大阪・関西のすばらしさを感じていただきます。さらに、そうしたお客様に日本各地の新たな価値や魅力を伝え、新しい「つながり」を創り、関西を起点に日本各地への人流創出に挑戦していきます。万博の成功、そしてポスト万博も見据え、大阪・関西地区から「移動」と「つながり」のチカラで心はずむ未来の実現につなげてまいります。



日本航空
常務執行役員 西日本支社長
宮坂 久美子



JAPAN AIRLINES